

(様式 1)

令和 3 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立文花中学校
校長名	稲垣 吉実

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・全国平均正答率を上回った各教科の観点$が 23$から32と大幅に増えた・全国平均正答率との差が-5ポイント以上の観点が18から8へと減った。・学校全体で、D・E 層が5割以上の教科が4教科から1教科に減った。3年生は全ての教科でB層の割合が前年度より増えた。・国語・数学に関しては、同一集団の標準スコアが前々年度、前年度と上回ってきている。	<ul style="list-style-type: none">・第2、3学年は理科が悪く、3学年では、4観点中3観点で、全国平均正答率を10ポイント以上下回ってしまった。D・E 層も3学年では5割を上回ってしまい、2学年では前年度より8.6%も増えてしまった。・経年比較において同一集団の標準スコアを下回ってしまった教科が、2学年では社会、理科、第3学年は理科、英語が0.2ポイントから2.4ポイント下がってしまった。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・i-checkの結果より、iスコアの「感動体験」が3学年とも全国平均を上回っている。・2年生に関しては「成功体験と自信」、「他者からの評価」、「学習習慣」、「学習意欲」も全国平均を上回っている	<ul style="list-style-type: none">・3学年とも「充実感と向上心」が全国平均を下回っている。・1、3年生に関しては「学習習慣」、「学習意欲」が全国平均を下回っており、「他者からの評価」も下回っている。教員が褒める機会を増やすことが必要。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・漢字、計算、英語コンテストが定着し、漢字コンテストでは合格率が各学年90%を超えており、昨年度よりも合格率が上がった。「やればできる」を体感することにより、自己肯定感も上がったと思われる。・校内研修や、年2回の研究授業、年3回の授業観察期間を設け「できる」「わかる」授業の技術向上を目指している。・また、i checkの分析や自己肯定感を高める授業について研修をし、研究協力校としての取り組みを行っている。・授業アンケートの結果、「授業がわかりやすい」の質問に対して約90%の生徒が「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えている。	<ul style="list-style-type: none">・計算、英語コンテストの合格率が、漢字に比べて低い。・各検定の受験を教科で勧めているが受験率が低い。・「ミライシード」を使用している生徒としていない生徒の差が大きい。・放課後学習教室の持ち方、講師の採用について課題がある。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 全校体制での校内研修の充実と授業力の向上を目指す取り組みを行う。

- ・「分かる授業」「学力が向上する授業」の実践集の内容が実施できているか自己チェックし、年 2 回の研究授業や年 3 回の授業観察期間において意見交換し、教員の指導力向上を図る。
- ・「学習ふりかえり期間」に、学習状況調査の正答率が 50%未満の問題を中心に学習する。
- ・授業規律を高めるためにも、授業時の約束事を文中 Challenge&Change（文中 CC）として掲示し徹底を図る。

(2) 「研究協力校」として、自信をもてる生徒を育成する。

- ・墨田区学習状況調査及び i check の結果の分析方法と、生徒の自己肯定感を上げる授業方法を外部講師にご指導いただく。
- ・研修を活かし、生徒の自己肯定感を上げる授業方法を校内研修で行い、実践につなげる。
- ・年 3 回の基礎学力コンテスト（漢字・計算・英単語）の取り組みにより「やればできる」達成感を体験させ、自己肯定感の向上を図る。
- ・帰りの学活で、「本日の MVP」を発表し、他者受容感や自己肯定感、自己有用感の向上を図り「やればできる」生徒を育成する。

(3) 補習学習や家庭学習の必要性や重要性を意識させる取り組みを行う。

- ・放課後学習教室や試験前の質問教室などの取り組みを、進路指導部を中心に計画を立て、実施する。
- ・各教科でロイロノートや「ふりかえりシート」「ミライシード」を活用し、家庭学習の定着を図る。
- ・家庭学習を定着させるために、単元テストや小テストを行う機会を短いサイクルで計画的に設け、テストの範囲を家庭学習と連動させる。
- ・基礎学力コンテスト前は、出題される問題を「ホームワークマラソン」として配布し、繰り返し学習させることで学習習慣を身に付けさせる。

3 「令和 4 年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・墨田区学習状況調査において、全観点の平均正答率を全国との差がマイナスの教科をなくす
- ・全教科の E 層を 0 にし、B 層の人数を増やす指導を行う
- ・同一集団の標準スコアが前年度を下回る教科をなくす